

つながる ひろがる

観覧無料
先着100名

～こどもの育ちにかかわる社会に～



「RAILROAD SWITCH」上映会

児童養護施設という共通の通過点を持ちながら、全く違う人生にたどり着いた若者たち。人生における選択は、必ずしも自分の意思で選べるばかりではない。それでもどこかには、人生のゆく先を切り替えるスイッチがあるはず…。

レイルロードスイッチとは、鉄道の線路を分岐させるポイントのこと。世界を少しでも変えるスイッチになりたい、タイトルにはそんな想いが込められています。

トークセッション&ミニライブ



[西坂 来人 -Raito Nishizaka-]
1985年生まれ。福島県出身。
「レイルロードスイッチ」企画・監督。
少年期の一時期を児童養護施設で過ごす。
特撮美術スタッフを経て、現在は映像作家、
絵本作家として活動。2018年に監督した
「The Benza」が海外で高い評価を受ける。



[中西 健 -Ken Nakanishi-]
1989年生まれ。奈良県出身。
7歳から18歳まで児童養護施設で過ごし、
22歳で脱サラして音楽活動を始める。
ライブ活動の他、社会的養護や児童養護施設
出身者のトークイベント主催など多岐に
わたって活動している。

2019.10.26(土)

13:15 開場 13:30 開演

場所 イーズホール 3Fホール

大阪府泉大津市東雲町10-11 (泉大津市役所前)

終了後、里親相談会をおこないます。

主催 大阪府里親会岸和田支部 (どんぐり会)
大阪府岸和田子ども家庭センター
(社)和泉乳児院 里親支援機関つむぎ

共催 大阪府里親会

この事業はキリン福祉財団からの応援をいただいています。



保育が必要な方へ

おおむね2歳以上のお子様を対象に、
先着順で5名まで一時保育をご利用
いただけます。ご希望の方は、事前
につむぎまでお申し込みください。

保育申し込み・問い合わせ先：里親支援機関つむぎ 〒595-0071 大阪府泉大津市助松町3丁目8番7号

☎0725-58-7001 <http://tsumugi4.wixsite.com/tsumugi>

映画から知る、考える

社会的養護の現状と、その先の知られざる課題

社会的養護とは？

保護者のない児童、被虐待児など家庭環境上養護を必要とする児童などに対し、公的な責任として、社会的に養護を行う。対象児童は、約4万6千人。

里親や母子支援施設、グループホーム等があり、そのうち約3万人の子ども達が児童養護施設で暮らしている。

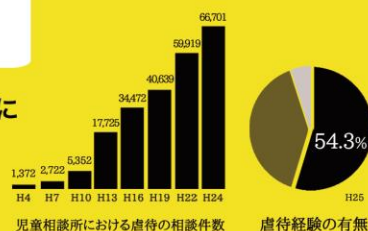


写真の一番上が監督の西坂(当時11才)。5人の兄妹が同じ児童養護施設で暮らしていた。

施設の児童の約半数が被虐待児

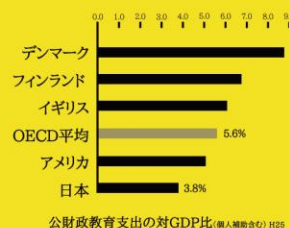
児童相談所における児童虐待に関する相談件数は、H11年度に比べ、H24年度には約6倍に増加。現在も右肩上がりに増加し続けている。(障がいのある子どもも増加傾向にある)

児童養護施設に入所している子どものうち、半数以上は、虐待を受けている。



少なすぎる予算、疲弊する現場

虐待を受けた子どもには十分なケアが必要とされるが、現場の職員やケアワーカーの数はまだまだ足りていない。職員は常に現場の対応に追われ、十分なケアが行き届かない現状がある。そもそも日本では、国から投下される子どもへの予算が先進国中最低ランクであり、社会的養護へ下りる予算も不十分。ケアを拡充するためには予算の拡大が必要である。



施設退所後の知られざる現状

児童養護施設の子供達は、学校を卒業したら施設を出て就職し、社会の一員となる。しかし、家庭という基盤のない彼ら、彼女らはアパートを借りるための保証人もいない孤独な状況から社会生活をスタートさせる。病気や怪我で仕事を失ったり、トラブルに巻き込まれると、一気に生活が破綻し、路上生活者になってしまうケースもある。

犯罪に手を染めてしまうケースや、女性の場合は高い割合で性産業へ就いている現状がある。また、虐待の後遺症や疾患を抱え、生き辛さを抱えながら暮らす人々も少なくない。



映画では、登場人物それぞれが児童養護施設を退所した後に、様々な悩みを抱えている。

私たちに出来ることがあります

社会的養護について話題にする、誰かに伝える。SNSやブログで意見を表明したり、記事をシェアする。地域の子ども食堂や施設へのボランティアに参加。児童養護施設や、退所者をサポートする団体への寄付など。